

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330432098	特別活動の指導法 Extra-curricular Activities	平田 幸男			2	必修	3後期

科目の概要
この科目では、まず特別活動の意義について知るとともに、学習指導要領解説の精読を通して目標及び内容等について理解する。また実践事例の検討などを通して、特別活動がこどもにどのような資質・能力を育むのかについて考えを深める（DP2）。そして、特別課題への取り組みを通して、自ら必要な情報を集め、自分の思いや考えを表現する力を養う（DP1・DP3）。自身の20年以上の小学校教員の経験や、特別活動に関する研究知見等もふまえて、受講生が特別活動の本質について理解し、教育観を深められるように講義します。

学修内容	到達目標
① 「特別活動」の意義や目標、内容を理解する。 ② 「特別活動」の活動計画案の書き方を理解し、具体的に活動計画案を作成する。 ③ 特別課題への取り組みを通して、自ら必要な情報を集め、自分の思いや考えを表現する。	① 「特別活動」の意義や目標、内容を理解することができる。 ② 「特別活動」の活動計画案の書き方を理解し、具体的に活動計画案を作成することができる。 ③ 特別課題への取り組みを通して、自ら必要な情報を集め、自分の思いや考えを表現することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性 ・授業内容を進んで理解しようとし、グループワークで自ら発言することができる。 ・特別課題に主体的、能動的に取り組むことができる。
	働きかけ力
	実行力 特別課題において、自分の考えや思いを伝えるために、見通しをもって取り組み、やり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力 特別課題において、自分にとって必要な情報は何かを考え、収集することができる。
	計画力
	創造力 特別課題において、自分の思いや考えをよりわかりやすく効果的に表現するための方法を探し、具現化することができる。
チームで働く力	発信力 自分の思いや考えを、グループや全体に対してわかりやすく伝えることができる。
	傾聴力 講義、発表やグループワークにおいて真摯に耳を傾け、相手の考えを理解しようとすることができる。
	柔軟性
	状況把握力
	規律性 授業でのマナーを守り、周囲に迷惑をかけないような配慮ができる。
	ストレスコントロール力

テキスト及び参考文献

テキスト：『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編』
 参考文献：随時紹介する
 オープンエデュケーション：「小学校特別活動映像資料」（文部科学省）
<https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbBHyGEmzV5N01sy5vHgyy1T>

他科目との関連、資格との関連

特別活動論は、教育の基礎的理解の科目の一部であり、教育実習指導・教育実習の基盤となる科目である。
 ・教育に関するすべての科目と関連する。
 ・幼稚園教諭免許、小学校教諭免許

学修上の助言	受講生とのルール
・絶対に教職に就くという強い意志をもち続け、学修したことを学校現場で絶対に生かすという決意で学びをしてほしい。	① 遅刻2回を欠席1回に換算する。 ② 授業開始から30分以降は欠席とする。 ③ 授業中に私語が著しい場合は退席、欠席扱いとする。 ④ 教員が許可する以外授業中の携帯使用禁止とする。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		50	①	✓	講義で扱った内容から、語句の穴埋めについて出題する。25点満点×2回
					②		
					③		
		レポート		40	①		※レポート（特別課題）は全て提出や発表されていることが修了の要件。それぞれ、SABCの4段階評価を行う。 ・期日までに、自分の考えた学級目標を提出し、発表する。10点 ・期日までに、自分の考えた活動計画案を提出し、発表する。30点 ・最終レポートを提出する。10点
					②	✓	
③					✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			0	①			
				②			
	③						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	授業後の振り返りにおいて、自己評価を行いそれを総括する。また、授業の出欠状況をそれに加味する。	
				②	✓		
				③	✓		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト①②で計40点以上とれる。 ・ねらいのしっかりとした学級目標案を作成することができる。 ・特別活動の内容を踏まえ具体的な活動計画案を作成することができる。 ・最終レポートで、特別活動の指導において、自分が大切にしたいことについて具体的に述べるができる。 （小テストで計45点以上かつ上記A基準を上回る内容であればSとする） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストで計35点以上とれる。 ・学級目標案、活動計画案を作成することができる。 ・最終レポートで、学修をふりかえることができる。 ※レベルBを満たしていない発表・レポート、又は提出遅れはレベルCと判断する。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション 授業概要/授業の ルール/評価方法を理 解する。 ・特別活動の目標、意 義を理解する。	・ガイダンス ・講義 ・ワークシート	・特別活動の目標や意 義等について、ポイン トをワークシートに記 述できる。	(復習) ワークシート の内容を復習してお く。	180	主体性 傾聴力 規律性
2	・学級活動(1)(話 し合い・合意形成)の 目標や内容について理 解する。 ・課題「学級目標作 成」について理解する	・講義 ・ワークシート	学級活動(1)の目標 や内容について、ポイン トをワークシートに 記述できる。	(予習) テキストの該 当箇所を読んでおく。 (復習) ワークシート の内容を復習してお く。 (課題) 学級目標の掲 示物を考え、作成す る。	180	主体性 実行力 課題発 見力 傾聴力 規律性
3	・エジプトでの日本式 教育の成果について理 解する。	・講義	・エジプトでの日本式 教育の成果から考えた ことをワークシートに 記述できる。	(課題) 学級目標の掲 示物を考え、作成す る。	180	主体性 実行力 課題発 見力 傾聴力 規律性
4	学級活動(2)(人間 関係形成・意思決定) の目標や内容につい て、実践事例の視聴も ふまえ、理解する。	・講義 ・動画視聴 文部科学省 小 学校特別活動映像資料 ユー チューブ https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbBHyGEmzV5N0Isy5vHgyylT ・グループワーク ・ワークシート	・学級活動(2)の目 標や内容について、ポ イントをワークシート に記述できる。 ・視聴した動画の学習 活動のポイントについ て理解し、説明するこ とができる。	(予習) テキストの該 当箇所を読んでおく。 (復習) ワークシート の内容を復習してお く。 (課題) 学級目標の掲 示物を考え、作成す る。	180	主体性 実行力 課題発 見力 傾聴力 規律性
5	・課題について発表す る。 ・児童会活動の目標や 内容について理解す る。	・発表(グループワー ク) ・講義 ・ワークシート	・児童会活動の目標や 内容について、ポイン トをワークシートに記 述できる。 ・自分の作成した学級 目標について説明する ことができる。	(予習) テキストの該 当箇所を読んでおく。 作成した学級目標を説 明できるようにしてお く。 (復習) ワークシート の内容を復習してお く。	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	・これまでの学修内容 の小テスト①を行う。	・小テスト①(1~5 回の内容) ・確認テストのフィ ードバック	小テスト①で12点以上 取ることができる。	(予習) テスト範囲を 復習しておく。	180	主体性 傾聴力 規律性
7	・クラブ活動、学校行 事(儀式的行事)の目 標や内容について理解 する。 ・特別活動の歴史につ いて理解する。	・講義 ・ワークシート	・クラブ活動、学校行 事(儀式的行事)の目 標や内容について、ポ イントをワークシート に記述できる。 ・特別活動の歴史につ いて、ポイントをワー クシートに記述でき る。	(予習) テキストの該 当箇所を読んでおく。 (復習) ワークシート の内容を復習してお く。	180	主体性 傾聴力 規律性
8	・学校行事(健康安 全・体育的行事、文化 的行事)の目標・内容 について理解する。	・講義 ・ワークシート	学校行事(健康安全・ 体育的行事、文化的行 事)の目標・内容につ いて、ポイントをワー クシートに記述でき る。	(予習) テキストの該 当箇所を読んでおく。 (復習) ワークシート の内容を復習してお く。	180	主体性 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	学校行事(遠足、集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事)の目標・内容について理解する。	・講義 ・ワークシート	学校行事(遠足、集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事)の目標・内容について、ポイントをワークシートに記述できる。	(予習) テキストの該当箇所を読んでおく。 (復習) ワークシートの内容を復習しておく。	180	主体性 規律性
10	・学校行事(遠足、集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事)の目標・内容について理解する。	・講義 ・ワークシート	学校行事(遠足、集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事)の目標・内容について、ポイントをワークシートに記述できる。	(予習) テキストの該当箇所を読んでおく。 (復習) ワークシートの内容を復習しておく。	180	主体性 傾聴力 規律性
11	・これまでの学修内容の小テスト②を行う。	・小テスト②(6~10回の内容) ・確認テストのフィードバック	・小テスト②で12点以上取ることができる。	(予習) テスト範囲を復習しておく。	180	主体性 傾聴力 規律性
12	・学級活動の計画案を立てる。	・講義 ・ワークシート ・スライド	・計画案を立てることができる。	(予習) 聞き手に分かりやすい発表に向けて準備をする (復習) 発表内容を修正する	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
13	・特別活動の計画案を発表する。 発表を振り返る。	・発表と感想(学生と教員双方向で意見交換する) 分かりやすく発表する。発表をよく聞きとり、的確な感想を述べる。	・発表することができる。 ・他の発表を聴くことができる。	(予習) 聞き手に分かりやすい発表に向けて準備をする (復習) 発表内容を修正する	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	・特別活動の計画案を発表する。 発表を振り返る。	・発表と感想(学生と教員双方向で意見交換する) 分かりやすく発表する。発表をよく聞きとり、的確な感想を述べる。	・発表することができる。 ・他の発表を聴くことができる。	(予習) 聞き手に分かりやすい発表に向けて準備をする (復習) 発表内容を修正する	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	・学修のまとめ 学修のまとめとして、特別活動の本質を踏まえて感想をレポート「学修を終えて」にまとめる。	・オンデマンドレポート 特別活動の本質を自分なりに解釈し表現する。	・本時間内に最終レポート(ドキュメント)を提出できる。	(予習) これまでの計14週で学修してきたことを復習しておくこと。 (復習) これまでに学修したことを復習すること。	180	主体性 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力